

松代金属株式会社

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

IoTと曲げ加工ノウハウを融合させたスマートファクトリーの実現

概要

レジスター関連市場の需要拡大に応えるため、既存の曲げ加工ノウハウとIoTを融合させ、知識の標準化と技術のロボット化による高品質・高生産性なスマートファクトリーを実現し生産能力30%拡大を図る。



分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工

＜事業類型＞ 高度生産性向上型・IoT

成果

既存の曲げ加工ノウハウとIoTを融合させ、知識の標準化と技術のロボット化による高品質・高生産性な工程を実現することで、事業該当工程の大幅な生産性向上を実現し、スマートファクトリーの実現に向けて前進した。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

松代金属株式会社（長野市）

キャッシュドロアでグローバル展開。
その技術ノウハウを活かして成長分野を目指す。

国内外主要メーカーから高く評価

小売店や飲食店など、その場でお客からお金の支払いを受ける事業者にはなくてはならないのがレジスター。商品の販売額を計算、記録する機器で、本体とともに売上金を収納する引き出し（キャッシュドロア）が一体化しています。



曲げ工程に導入したロボット

松代金属はキャッシュドロアを中心にプレス・板金・組立を一貫して手がけ、国内はもとよりグローバルな市場で高い実績を誇ります。

「1945年創業当初は小型カメラを製造し輸出もしていたようですが、ほどなくしてキャッシュドロアにシフトしました」と芳川真一社長。現在、キャッシュドロアで国内3～4割のシェアを誇り、国内向けと海外向けがほぼ半々。海外はアメリカを中心に展開し、大手チェーン店でも使われています。

同社はかつて主要取引先だった大手メーカーから海外進出を要請された際、諸事情から固辞した結果、取引がなくなるという困難も経験。そんな中でも、さまざまな仕様にきめ細かく対応できる技術力と、社会情勢や環境変化にいち早く応える対応力による高品質な製品づくりで、国内外主要メーカー各社から高く評価され信頼を集めています。

高齢者・障害者の雇用にも力を入れる

悩みは小さい部品の加工中に事故が発生する危険性があること。芳川社長は「安全と社員の熟練度は比例する。特に小さい精密部品は熟練工でないと難しい」と打ち明けます。



熟練工が手作業で

同社では平成27年度ものづくり補助金を活用し、曲げ工

程にロボットを導入。作業スピードは熟練工にかなわ

ないものの、安全の確保を実現し、結果的に増産にもつながりました。このようなIoTと蓄積してきた曲げ加工ノウハウを融合させたスマートファクトリーの実現により、キャッシュドロアをさらに極めつつ、医療や航空機産業などの成長分野にも積極的に技術を活かしていこうと考えています。

同社では以前から高齢者・障害者の雇用に力を入れ、若い社員に混じって高齢者や障害者の活躍が目立ちます。「技術ノウハウの継承を図るとともに、ロボット導入による作業平準化を進めることで、高齢者、障害者の活躍の場がさらに広がると期待しています」と芳川社長。今後定年の引き



高齢者・障害者も活躍する社内

上げ、それ以降の無期の継続雇用も検討しながら、高齢者、障害者を含む社員一人ひとりが安心して働ける環境づくりを目指しています。



多種多様なキャッシュドロア製品

松代金属株式会社

代表 代表取締役社長 芳川真一
創業 1945（昭和20）年2月
資本金 1,000万円 従業員数 42名
本社 長野市松代町西寺尾1368



TEL.026-278-2224 FAX.026-278-9257

URL.<http://www.matsushiro.com/>

事業内容 キャッシュドロアの製造・販売・輸出、プレス金型の整備及び製造・販売、プレス・板金部品、電気部品などの製造販売・輸出入業務